

【第三種郵便物認可】

米国など海外でよく開かれるホームパーティー。友人だけでなく、会社の上司、取引先やその知り合いまでも家に招くことが多く、仕事に役立つ人脈を広げる場にもなる。日本でも外国人と接する機会は増えてきた。飲食店での合会ではなく、たまには自宅に招いてみてはどうだろうか。外国人とホームパーティーを楽しむ人たちの事例を探ってみた。

「最近どうなの?」。んていまま」とい。友は人数分の食器とグラスをそろえること。紙皿や紙コップと違い、「雰囲気が出ますよ」という。自宅に食器をそろえるの大変なら、レンタル会社やケータリング会社の利用もい。皿1枚当たり100円単位で借りられる。

出身の夫のサッカー仲間など約30人。国籍は英米、カナダと多様だ。リビングのテーブルには七面鳥の丸焼きやパスタなど、夫妻が朝から準備した手料理が並び、客は皿を手に自己紹介、ソファに座って話し込む。趣味に、仕事と話題は尽きない。日本語と英語が飛び交い、談笑は夜遅くまで続いた。

リロケーション・インター。欧米のほか、アジアで開く場合は、あれこれ考えずる料理にする。その上で、客の妻からの相談も多い。海外に駐在する会社員も仕事仲間を自宅でもてなす。日本流で通してはどうか。狭い出身地のヒールをそろえる。女性任せにする。外国人には不自然に映る。家庭の温かな雰囲気は伝われば、お断り「美術で磨くグローバル感覚」は休みまし

家でパーティー あなたも国際派

実践者に聞くポイント

ホームパーティーを生かすポイント

- パーティーを企画する
 - 部屋の広さに合わせ、人数を絞る
 - 招待客は男女半々にすると盛り上がる
 - 招待客が食べられないものを調べておく
 - 食事の準備が大変ならケータリングサービスを使う手も
 - 家族の理解・協力を取り付け

パーティーの準備

- 本や音楽CDなど自分の好みの物を置くと、パーティー中の話題に
- 食事とお酒は十分に用意
- 客対応や食事提供を女性(妻)任せにしない

パーティー中

- 会話は出身や趣味など最初はソフトなテーマから。客の出身国の批判や政治問題は避ける
- 手持ちぶさたの人には声かけを
- 必要に応じて名刺交換を。後日、連絡を取れば仕事につながる可能性

カップル招待、人の輪広げる

玉木さんは2~3カ月に1度ホームパーティーを開く

会話をスムーズにするための雰囲気もよく演屋に移動させるなど、スベス確保は重要だ。そで中東向けのプロジェクトファイナンス(FDI)を掛けるなど、ちょっとを担当する玉木直季さんは、金曜日の夜にパーティーを開く。仕事の緊張から解放され、皆がほつるの、同僚のほか、英



とする時だ。会場となる自宅リビングには、三天テールなどクラシック音楽を流し、ドバイ駐在時などに収集した中東の調度品を並べる。「自分の趣味を知ってもらえるし、会話のきっかけにもなる」(玉木さん)

調度品・音楽... 趣味生かし雰囲気演出

関係を深めるには、ホームパーティーはもってこい。閉店時間を気にする必要はなく、ゆったり会話が楽しめる。ホスト役として初対面で国籍も違う参加者の間に入り、出身地や趣味などソフトな話題を振って会話をつなげる心配りもしやすい。銀行員と弁護士が意気投合してビジネスにつながった例もある。

玉木さんは2~3カ月に1度は自宅パーティーを楽しむ。忙しいときでも開催するのは、仕事をスムーズに進めるため人脈が不可欠と痛感しているからだ。かつて英国の大学の経営学修士(MBA)コースに在籍中に人脈の大切さをたき込まれたという。「初対面でも、知人の紹介だと仲良くなりやすい」(玉木さん)。日本人だけで飲むのも楽しいが、ちょっとと勇気を出して外国人を誘ってみると仕事のチャンスが得られるかもしれない。(相模真記)

日本流で通すのも一手

い部屋に合わせて招待客を絞る。ホームパーティーについて、会社の同僚や取引先との距離を縮める。海外に駐在する夫に同行すも、ちゃんと縮まるだろう。